

# 宇都宮市 学校 情報教育 だより

～学校で情報機器を活用するためのヒントや授業実践例などを紹介していきます。～

## ＝学校に求められる，計画的な情報モラル教育への取組＝

宇都宮市では，平成22年4月に「宇都宮市情報モラル教育年間指導計画」を作成し，全校へ配布しました。

指導内容の重複や飛躍を生じさせないために，指導内容の**体系化・系統化・標準化**が求められます。

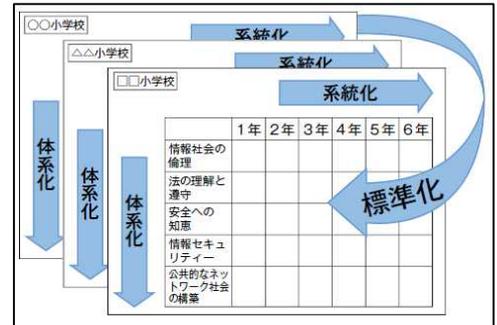
- ・**体系化**とは，「2領域5分野」の内容にバランスよく取り組むこと。
- ・**系統化**とは，どの学年でどのような内容を指導するのか，発達段階に応じて指導内容を積み上げること。
- ・**標準化**とは，進級・進学した際の児童生徒のレベルを揃えるため，統一（共通）したカリキュラムを実施すること。

情報モラル教育を体系化・系統化・標準化して行うために，各教科・領域で実施する内容については，年間指導計画に位置付けるなどして計画的に実施していくことが求められます。特に，新学習指導要領の内容改善点に挙げられている道徳における情報モラル教育の取扱いについては，校内での共通理解が必要です。

宇都宮市情報モラル教育年間指導計画 情報モラル教育題材一覧表

学年	月	内容	備考	
				小学校
1年	7月	コンピュータやパソコン室の使い方を知る	H23.5追加	
	12月	約束やきまりを守る		
	2年	7月	約束や決まりを守り，みんなが使うものを大切に 栃木県教育委員会 情報モラル育成資料集 道徳「お知らせコーナー」P9	H23.5追加
		12月	人のつったものを大切に	
	3年	7月	姿が見えない相手に対しても，真心をこめて接しようとする 栃木県教育委員会 情報モラル育成資料集 道徳「電話の向こうはどんな顔」P12	H23.5追加
		12月	危険な情報や不適切な情報が出てきたときの対処法を知る	
	4年	2月	パスワードの重要性を知る	H23.5追加
		7月	掲示板を利用するときのルールやマナーについて知る	H23.5追加
	5年	12月	間違った情報もあることを知る	
		2月	著作物の取り扱いのルールを知る(著作権)	H23.5追加
	6年	5月	メールの使い方を知る	
		7月	掲示板の利点と注意点を理解する	H23.5追加
10月	7月	ブログを利用するときのルールやマナーについて知る	H23.5追加	
	12月	個人情報を守らさない(自分)		
10月	5月	相手の立場に立って情報を発信する 栃木県教育委員会 情報モラル育成資料集 道徳「わたしが送ったメール」 P15	H23.5追加	
	7月	チェーンメールを受け取ったときの対処法を知る		
12月	10月	個人情報を守らさない(友達)	H23.5追加	
	12月	「大人向けのページ」が出てきた場合の対処法を知る	H23.5追加	

文部科学省「情報モラル指導者研修ハンドブック」より



### 情報モラル年間指導計画のポイント!

- ① 中学校9年間を通して，体系的・系統的に取り組む内容（33題材）を明示し，標準化を図る
- ② 33題材全ての具体的な指導事例を作成
  - ・朝の会や帰りの会で（指導時間 15分程度）
  - ・各教科の中で（指導時間 本時の中の一部）
  - ・学級活動や道徳で（指導時間 小学校 45分・中学校 50分）
- ③ 既存の情報モラル指導教材を積極的に活用
  - ・スズキ教育ソフト「あんしん・あんぜん情報モラル」
  - ・栃木県総合教育センター「子どもたちがネットトラブルにあわないために」
- ④ 家庭通信を用意し，家族で話し合う機会を提供

・緑色の題材は，平成23年2月に栃木県教育委員会で作成・配布した「情報モラル育成資料集」の道徳教材を活用して行います。

・中学生になると，インターネットやメールの利用率が高まることから，右表の赤線の題材を入れ替え，1年生で「法律やネット利用上のルール」について学習することとしました。(H24年度より)

・学校の実態に合わせて内容の配置を工夫するなど，学校裁量により自校化していくことが大切です。



学年	月	内容	備考
1年	5月	コンピュータウイルスについて知り，感染予防対策ができる	H23.5追加
	7月	携帯電話を使うときのルールやマナーを身につける	
10月	10月	チェーンメールの仕組みを知り，受け取ったときの対処法を知る	H23.5追加
	12月	相手の立場に立って，責任ある情報発信を行う 栃木県教育委員会 情報モラル育成資料集 道徳「自分のせい」P18	H23.5追加
2年	2月	法律やネット利用上のルールを守る	
	5月	インターネット利用上の注意(掲示板)	
7月	7月	出会い系サイトの危険性を知る	
	10月	インターネット利用上の注意(ダウンロード)	H23.5追加
12月	12月	情報を公開するとき気をつけることを考える	H23.5追加
	2月	ネット上の誹謗中傷は行わない	H23.5追加
3年	5月	携帯電話の利用料について考える	H23.5追加
	7月	電子メールを利用した詐欺について知る	
10月	10月	「大人になる」ことの意味について考える	H23.5追加
	12月	健康面に配慮した情報メディアとのかかわり方について考える	H23.5追加
2月	2月	違法サイトの危険性を知る	H23.5追加

平成24年度用「図画工作科年間指導計画【小学校2年-12月】」への記入例

題材名	うつつて見つけて (6時間扱い)		共通事項	様々な形を写し取る活動を通して、形や色をとらえ、これをもとに自分の表したいイメージをもつ。			
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>ローラー遊びなどに関心をもち、意欲的に版で表すようにする。(関)</li> <li>ローラー遊びややさしい版の表現から自由な発想や想像をふくらませようとする。(発)</li> <li>版を使った表現を試しながら、繰り返しや重なりなどの工夫を表現に生かそうとする。(技)</li> <li>自分や友人の表現から、発想の楽しさや版のよさを感じ取るようにする。(鑑)</li> </ul>		材料用具	《教師》 スポンジローラー、カッターナイフ、共柄の具(版画用 水溶性インク)、繰り返し板、画用紙、 《児童》 はさみ、古新聞紙、タオル、クレヨン、カラーペン			
			備考	(情モ)情報モラル教育年間指導計画「人のつくったものを大切に」の利用			
月	配当時間	学習の目標	小中一貫教育の視点	主な学習活動	おおむね満足できる状況【観点】(評価の方法)	支援及び留意点	備考
12	1	ローラー遊びなどに関心をもち、どんな写し方があるかなど、意欲的に考えようとする。	①ここでは、型抜きとローラーを利用した型紙版画の技法を扱っているが、6年間で様々な版の体験が系統的に配列されている。	1 ローラー遊びなどの経験を出し、どんな写し方があるかなどについて話し合う。	【関心・意欲・態度】(活動の様子・発言) ・ローラー遊びに関心をもち、写してみたい形のイメージを思い描いている。	・1年生のときのスタンプ遊びを思い出し、さらに楽しい活動となるよう意欲付けをする。	
	4	ローラー遊びややさしい版の表現から自由な発想や想像を膨らませることができる。 版を使った表現を試しながら、繰り返しや重なりなどの工夫を表現に生かすことができる。	彫りと刷りの組み合わせや同じものが何枚もできるという特徴、紙版や木版、ステンシル版など版材の違いによる刷り上がり効果や美しさなど、様々な版表現ならではのたのしさを体験させたい。	2 写してみたい形や色の工夫をしたり、いろいろな写し方を試したりする。 3 形や色の組み合わせを考えながら写す工夫を楽しむ。 4 写したもののから想像を広げて、クレヨンやカラーペンなどでかき加える。 5 完成した作品を見せ合い、版のよさや楽しさを味わう。	【発想や構想の能力】(作品・活動の様子) ・ローラーが写し出す色や形から、表したいことを考えている。 【創造的な技能】(作品・活動の様子) ・ローラーや版を使った表現を試しながら気に入ったものを表現に生かしている。	・型紙版画の作り方を理解させる。 ・はさみやカッターナイフの使い方を十分に指導する。 ・紙に写す時は、滑ってずれないように上からしっかり押さえさせる。 ○何をかき加えたいのか問いかけて発想が広がるように支援する。	(情モ)情報モラル教育年間指導計画「人のつくったものを大切に」の利用
	1	自分や友人の表現から、発想の楽しさや版のよさを感じ取ることができる。			【鑑賞の能力】(活動の様子・ワークシート・発言) ・自分の思いや友達作品から感じたよさや違いを自分の言葉で伝え合っている。	・鑑賞し合う中で、友人の工夫のよさに気付かせる。 ○児童とともに教師が作品のよさや工夫を見つけて賞賛し、鑑賞の視点に気付けるようにする。	

平成24年度用「国語科年間指導計画【小学校5年-5月】」への記入例

月	教材名	配当時間	目標	小中一貫教育の視点	主な学習活動	おおむね満足できる状況【観点】(評価の方法)	支援	備考
5	文章の構成を考えながら内容を読み取ろう	読む 5	文章の構成を考えながら、要旨を読み取れるようにする。	②総合「環境」と関連付けて学習する。	1 題名や屏の絵をもとに動物の体と気候との関係を考え、説明文を速読して学習のねらいを確かめる。 2~4 文章の構成を考えながら読み、読み取ったことをノートに整理したり感想を発表したりする。 5 文章構成図をかき、要旨をノートにまとめ、読み取ったことをまとめる。	【関心】(観察) ・動物の体と気候との関係に興味を持ち、進んで感想を出したり読感に注意をして要旨を考えようとしている。 【読む】(ワークシート・観察) ・文章の構成を考えながら内容を読み取り、要旨をとらえている。	○段落に通し番号を付けさせて、どのようなまとまりに分けたらよいか個別指導する。 ・まずは5つのまとまりに分け、整理する表を作り、まとまりに小見出しをつけるよう助言する。 ○写真を参考にして、1段落ずつ読み取らせていく。 ○段落の関係について、図に表して関係を理解させる。 ○小見出しをもとに、文章の組み立てを確認する。	④動物や自然環境の本を事前に把握する。 ⑤3-(2)
	グロブスターチャーターをよみ	話聞 3	理由を明確にして、人物を推薦するための話ができるようにする。	④地域の先生を推薦することで意欲につなげる。	1 学習のねらいを確かめ、教科書のメモの例や話例をもとにして、推薦する理由を挙げる際の観点や、推薦する話し方について話し合う。 2・3 教科書の「やってみよう」をもとに、推薦したい人を決めて話し練習をする。	【関心】(観察) ・推薦する人のよさが伝わるように話そうとしている。 【話聞】(観察) ・推薦する理由を明確にし、エピソードなどを入れながら話している。	・グロブスターチャーターして呼ぶ条件や内容についてグループで考えさせる。 ○推薦したい人を身の回りから選ばせ、その人のよさについて考えさせる。	(情モ)情報モラル教育年間指導計画「メールの使い方を知る」の利用
	書くことSU21	書く 2	相手に合わせた表現を考えながら、お礼の手紙が書けるようにする。		1 書きたい相手や内容をはっきりさせ、書きたいことをメモに書き出す。 2 言葉遣いなどにも注意して読み直し、清書する。	【書く】(手紙) ・お世話になった気持ちを込めて、正しい表現で手紙を書いている。	○丁寧な言葉遣いになるように点検する。	

平成24年度用「技術・家庭科年間指導計画【中学校1年-2月 技術分野】」への記入例

題材名	デジタル作品の設計・製作及びプログラムによる計測制御		題材の留意事項	※・(人)人権教育との関連 ・(道)道徳教育との関連 ・(図)学校図書館教育との関連 ・(キ)キャリア教育との関連 ・(情モ)情報モラル教育との関連 など、単元全体の関連を記述する。				
題材の目標	技術と社会や環境との関係に関心をもち、情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得させ、情報に関する技術が社会や環境に果たす役割と影響について理解を深め、それらを適切に評価し活用する能力と態度を育成する。							
月	小題材名	配当時間	学習の目標	小中一貫教育の視点	主な学習活動	評価(おおむね満足できる状況)【観点】(評価の方法)	支援	備考
(1年-6時間)	情報の発信と責任	2	情報の発信におけるプライバシー保護と著作権の重要性について理解し、それを侵害しない判断ができる。		「自分のテーマ」でのコンピュータ活用で集めた情報の著作権よ、どうなっているか確かめさせる。	・人権やプライバシー、著作権保護の内容についての知識を身に付けている。【知】(問答)	・情報に関するプライバシー等の人権問題を考えさせる。 ○身近な事例から想起させ、理解を促す。	(人)情報発信の際に様々な権利を侵害せずにいけるようにする。
			情報化が社会や生活に及ぼす影響と情報モラルの必要性について考えることができる。	・人権、プライバシーの保護の面でも、自分のこれまでの情報の活用をふり返らせる。 ・インターネットやネットワークの便利さの一方に潜む危険性について調べさせる。	・情報モラルを身に付け、情報を安全に利用するための考え方を身に付けようとしている。【関】(ワークシート)	・情報モラルを再確認させる。 ○具体的な事象を通して、情報社会に適正に活動させようとする。	(道)匿名性や機械操作という状況で人とのつながりの意識が薄れないように指導する。 (情モ)情報モラル教育年間指導計画「法律やネット利用上のルールを守る」の活用	

## □ コンピュータやパソコン室の使い方を知る

〈生活科〉「草花や虫と遊ぼう」 峰小学校 1年(7月)



公園で見つけた草花や虫を発表し合う活動では、友達がデジタルカメラで撮影した写真を、パソコン室の児童用パソコンで確認しながら情報交換を

行いました。また、1年生にとっては初めてのパソコン室での授業となることから、きめ細やかな支援を行うことができるよう、担任と情報教育主任がT Tで行う授業形態としました。

生活科のねらいを達成しつつ、パソコンの操作が必要な場面では、基本的なパソコンの操作方法やパソコン室の使い方を身に付けさせることができました。

## □ 掲示板の利点と注意点を理解する

〈学級活動〉 西小学校 5年(7月)



動画教材(スズキ教育ソフト「あんしん・あんぜん情報モラル」)を視聴し、掲示板は有益な情報を得ることができるが、悪意をもった人がまぎれ

込んでいる可能性もあることに気付かせました。

まとめに、掲示板に参加する際に注意することを各自考えさせ、全体で話し合うことで、「書き込みの内容をよく確かめる」「個人的な情報を求める掲示板はさける」「なりすましに注意する」など、参加してはいけない掲示板を見極めるためのポイントを押さえることができました。

## □ 相手の気持ちを考える「わたしが送ったメール」

〈道徳〉 陽南小学校 6年(5月)



栃木県教育委員会発行「情報モラル育成資料集」にある道徳資料「わたしが送ったメール」を取り上げ、主人公が由美に送ったメールに込めた気持ちや、送ったメール

が結果的に3人の間の溝を深めてしまった理由について考えさせました。

児童は、文字だけのやりとりの危うさと、常に受け手の気持ちを十分に考えて情報発信することの大切さに改めて気付き、よりよいコミュニケーションとは何かについて各々の立場で考えることができました。

## □ 健康面に配慮した情報メディアとのかかり方について考える

〈学級活動〉 豊郷中学校 1年(12月)



動画教材(スズキ教育ソフト「あんしん・あんぜん情報モラル」)を視聴し、ネット依存について考えました。

生徒たちは、ネット依存とはどのような状態のこと

で、どのようなことをきっかけに陥ってしまうのか、動画教材に登場する主人公の生活を通して理解を深めることができました。また、ネット依存の症状がないか、ネット依存にならないために日ごろから注意すべきことは何かについて、自らをかえりみて確認することもできました。

## □ インターネット利用上の注意(ダウンロード)

〈学級活動〉 城山中学校 2年(11月)

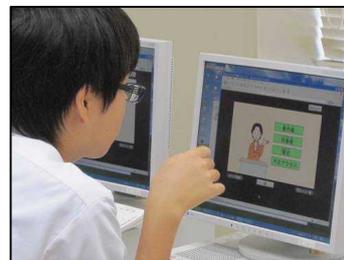


動画教材(スズキ教育ソフト「あんしん・あんぜん情報モラル」)を、パソコン室生徒用端末で視聴し、音楽データのダウンロードなど、インターネットを利用する上での注意について考えました。

生徒からは、「何気なくダウンロードしていたデータにウイルスが入っている可能性があることに驚いた。」「スパイウェアという言葉は知っていたが、どんなことが起きるかは知らなかった。」等の意見が出されました。生徒は、インターネットでのデータのやり取りには危険が伴うことを改めて認識したようです。

## □ 法律やネット利用上のルールを知ろう

〈技術〉「情報とコンピュータ」 旭中学校 3年(10月)



動画教材(スズキ教育ソフト「あんしん・あんぜん情報モラル」)を、パソコン室生徒用端末で視聴し、法律やネット利用上のルールについて考え

ました(管理ソフトによる画面転送機能を活用)。

生徒からは、「現実の社会と同様にネット社会にもルールがあり、それを守らなければならないことを、詳しくは知らなかった。」「自分や相手、他人のプライバシーを守るとともに、悪用などを許さない心を持つことが大切。みんなが気持ちよくインターネットを使うことができればいいと思った。」等の意見が出されました。